

取扱説明書

安全ベルト ロープ・ランヤード 品番：＃ 7 9 5 0 3 型式：F－1 6

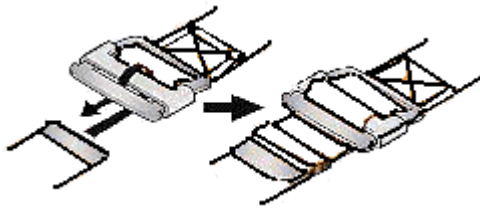
1, 用途

・この安全ベルトは、**1本吊り専用**です。その他の用途には使用しないで下さい。

2, 使用方法



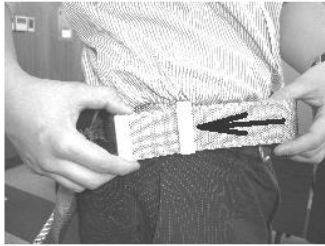
①ベルトを**腰骨の位置**に回して下さい。



②バックルの裏側にベルトを通し、次に表側に入れて、引張して下さい。



③ベルトが外れない様に、再度確実に引き締めて下さい。



④ベルトをベルトリングに通し、余ったベルトを止めて下さい。



⑤ランヤードを使用しない時は、収納袋に入れて下さい。



⑥大型フックのセーフティーレバーを下方向に押し込んで下さい。



⑦ストッパーを引いて、**腰より高い位置の強度がある場所**に、引っ掛けて下さい。



⑧ストッパーを閉じ、大型フックが確実に閉じている事を確認し、作業を行って下さい。

3, 注意事項

△警告 (この警告文に従わなかった場合、死亡、又は、重傷を負う危険性のあるもの。)

- ①本商品を使用する前に、各部品が**確実に取り付けられている事を確認して**下さい。
- ②ランヤード(フック)は**堅固な構造物**に取り付けて下さい。
- ③一度でも大きな荷重が掛かった安全ベルトは、**使用しないで**下さい。
- ④**人と人をロープで繋いで使用しないで**下さい。
- ⑤ランヤードやベルトを**鋭利な物に当てない**で下さい。
- ⑥本商品はロープランヤードタイプの安全帯です。**荷物を縛ったり、吊ったり、安全帯以外の用途では使用しないで**下さい。
- ⑦雨天時に**ベルト、ロープが濡れた場合は、非常に電気を通し易くなります**。感電に注意して下さい。
- ⑧**ベルトやランヤードに体重を掛けて使用しないで**下さい。
- ⑨ベルトの締め方が緩いと体が抜け落ちる恐れがあります。必ず、確実にベルトをバックルに通して下さい。
- ⑩使用中に異常を感じた場合は、直ちに使用を中止して下さい。
- ⑪**親ロープを使用する際は、親ロープ一本に対して、一人で使用して**下さい。複数人で使用しないで下さい。
- ⑫ランヤードは万一の墜落時に、装着者が床面に衝突しない位置に取り付けて下さい。
- ⑬腰より**低い位置にフックを取り付けると万一の落下時に衝撃荷重が高くなり、事故に繋がる恐れ**があります。
- ⑭本機の**最大使用体重は85kg**です。それ以上の体重の方は使用しないで下さい。
- ⑮大型フックは、強度のある場所に正しく引っ掛けて下さい。墜落時に大型フックが折れ曲がったり、セーフティーレバーやストッパーに荷重が掛からない様に取り付けて下さい。
- ⑯ランヤードは、振り子状態にならない様に、装着者に近い位置に取り付けて下さい。
- ⑰ランヤード、ベルトに、酸やアルカリを付着させないで下さい。強度が低下する原因になります。
- ⑱本商品の分解、修理、改造はしないで下さい。

△注意 (この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。)

- ①**必ず使用前点検を行なって**下さい。
- ②本商品を屋外に放置しないで下さい。強度が低下する原因になります。
- ③**本商品の縫い糸にほつれがある場合、変形、破損箇所、摩耗、腐食、及び錆がある場合は、使用しないで**下さい。
- ④ランヤードを取り付けているDリングは、身体横になる様に装着して下さい。
- ⑤**強風時や、荒天時は使用しないで**下さい。
- ⑥本商品に、異なるメーカーの部品を組み合わせ使用しないで下さい。
- ⑦工具類は、収納袋へ収納して下さい。